

みんなで分け合う雨水

村田 真緒

お天気が気まぐれです。日でも雨がつつくこと
ともあるし、きゅうげきなしゅう中ごう雨に
なつてひんが必ようなこともあります。

地球全体では、雨の多い地いきと何日も雨
がふらないで作物がかんそうしてかかれてしま
い、人間や動物が生ぞんできない、きびしい
かんきょうの地いきもあります。

雨水はほうつておくと地めんにしみこんだ
り、海にながれたりしてしまうけど、その前
に工夫して、り用できないかなと考えました。

雨水をためておいて、暑い日にアスファル
トにうち水をして気おんを下げたり、にわか
畑の水やりにり用すれば、水道水のせつ水に
なります。その他にも、防火水そうにためて
おいて防火用水としてもり用できます。雨水
の水やりでグリーンヤを育てて日よけにしたら、
グリーンを使うことがへり、せつ水だけでな
く、電気代もせつやくできると思っています。

わたしはもっとゆめのある活用法を考えて
みました。地球全体の地めんの下に巨大なオ
ムツをしきつめておきます。雨がふると、海
にながれる前に地めんでオムツにキヤツチし
てすいこんでおくのです。その水分を、地球
のおんだん化をやわらげるために、おんぶを
下げることにより用したり、地球の反対がわの
さばくや礫^がばつ^の地いきの人びとがリ用した
りできるようにするのです。

こんなことがかなえられたら、雨の多いと
ころも、雨の少ないところもリよう方がべん
りになり、めぐみの雨を突かんできます。

海にたどりつく前に、雨水を真水のままで
ためることができれば、多くの人がリ用でき
て、多くの人の命もたすかろと思えます。

かぎられた水しげんを、地球全体の人間や
生き物でゆずりあいができるよりにけんき
うやかいはつが進んで使えたら、みんながも
つともつとやさしくなれて、よい社会になる
と思います。